



2026

学校だより **本荘** Smile

令和7年度 第53号
令和8年3月17日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

持久走大会について。走ることは苦しいけれど、その先にゴールがあります。



今は、3月17日です。もう春の日差しであたたかい日々が続いています。さかのぼること1カ月以上も前になりましたね。2月13日(金)は本荘小学校恒例の持久走大会がありました。この日のためにしっかりと練習してきたこともが例年以上に多かったように思います。

1月、2月の子どもたちは、各学年、毎日3周以上はトラックを走っていたと思います。その証拠に、校長先生や担任の先生、養護教諭の先生、専科の先生、時には朝から超いそがしい教頭先生までも一緒に走っていたのです。

持久走は「苦しい」「きつい」というイメージが強く、苦手意識を持つお子さんも少なくありません。しかし、だからこそこの行事には、他の競技にはない大

きな意義があると考えています。

一つ目は、「自分自身の目標」に向き合う力です。大切なのは順位そのものではなく、「最後まで止まらずに走り切る」「昨日の自分より1秒でも速く走る」といった、自分自身との約束を守り抜く経験です。

二つ目は、苦しさを乗り越えた先にある「達成感」です。「あきらめなかった」という記憶は、将来、学習や生活で困難にぶつかったときに、子どもたちの背中をそっと押してくれるはずです。

当日は、順位やタイムという目に見える結果だけでなく、そこに至るまでの練習の過程や、必死に前を向いて走る姿を、温かな声援で包み込んでいただいたと思っています。ありがとうございました。(校長)

※裏面は校長先生の虫眼鏡です

校長先生の虫眼鏡「持久走大会の様子です。」

持久走大会の様子です。先生方が、一人一人を大切に配慮をされていました(^_^)



自分たちの自治活動で準備体操しました。



さあ、高学年のみなさん。スタートです!!



低学年のみんなも一生懸命です。



さすが軽快な走りです。



中学年のこどもたち。デッドヒートです。



教頭先生の講評です。みなさん頑張りましたね。